シスコ データ保護ソリューション

シスコ データ保護ソリューションは、ビジネスにとって保険といえます。ビジネス データを保存してリスクを軽減し、確実に保護して、いざというときにすぐに使用できるようにします。データの整合性と可用性には代価がありますが、損失のコストと可用性の欠如はそれをはるかに上回ります。

シスコには、Cisco UCS C シリーズ ラック サーバから大容量 Cisco UCS S シリーズ ストレージ サーバまで、Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) プラットフォームでの互換性が認定されたさまざまなデータ保護ソリューションがあります。シスコのソリューションは、すべてのベアメタル、コンバージド、ハイパーコンバージド、およびソフトウェア定義型ストレージを含めた、すべてのデータセンター インフラストラクチャにおいてデータ保護を提供します (図 1)。

データ保護ソリューションへのシスコのアプローチは他社とは違います。業界トップクラスのデータ保護ソフトウェア パートナーのソフトウェアを、Cisco UCS を基盤として組み合わせています。このアプローチによって、現在使用しているソリューションよりも高い価値をもたらす、優れたソリューションが実現します。

利点

- 高可用性、バックアップ/リカバリ/アーカイブ (BURA)、およびディザスタ リカバリ ソリューションでデータ保護を実現します。
- シスコのソリューションで 3-2-1 バックアップ ルールを実装します。
- シスコのソリューションは、導入とメンテナンスが容易です。
- シスコのリファレンス アーキテクチャと Cisco Validated Design で、コストとリスクが削減されます。
- 業界をリードするソフトウェア ベンダーとのパートナーシップで、ロックインを回避できます。
- Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) モデルベース管理で、運用効率が向上し、総所有コスト (TCO) が削減されます。

データ保護とは

データ保護は、1 つ以上の技法を使用して、障害発生時にデータの可用性と整合性を確保します。データがビジネスにとって重要であるほど、そのデータを保護する重要性が増します。しかし、すべてのデータが同じ重要性を持つわけではありません。データの重要性を定量化するために、業界では「目標復旧時間 (RTO)」と「目標復旧時点 (RPO)」という用語を使用します。すべてのアプリケーションの展開計画の一環として、各アプリケーションとデータについて RPO と RTO を定義する必要があります。RTO は、データにアクセスしなくても重大な損失を生じずに業務を遂行できる時間です。つまり、障害が発生した後、いつまでにデータを復元しなければならないかを示しています。RPO は、データの損失や破損を許容できる最大時間です。RPO と RTO を把握しておくと、アプリケーションに対する適切なレベルのデータ保護を最初から取り入れることができます。

データ保護のレベル

データ保護に対して、高可用性、バックアップ/リカバリ/アーカイブ (BURA)、およびディザスタ リカバリ ソリューションという 3 つの主なアプローチが使用されています。

- **高可用性**：インフラストラクチャの高可用性機能は、データ保護の最初のレベルです。インフラストラクチャにシングル ポイント障害がない場合、アプリケーションの可用性またはデータを失う可能性はほとんどありません。

© 2016 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved. This document is Cisco Public information.

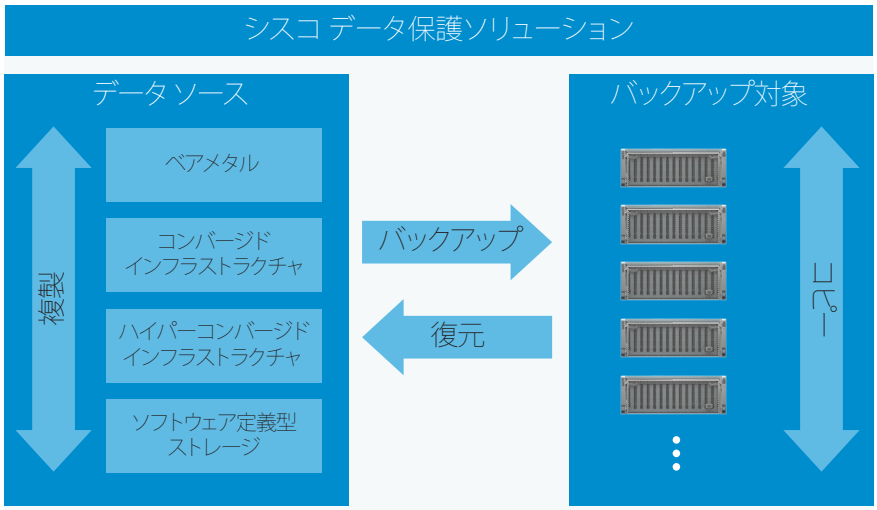

図 1 シスコ データ保護ソリューションは、データセンター インフラストラクチャ ソリューションの全領域に対応します

- **バックアップ、リカバリ、アーカイブ：**BURA ソフトウェアは次のレベルのデータ保護およびデータ管理です。3-2-1 バックアップ ルールを使用します。つまり、ビジネスクリティカルなデータについて 3 部のコピーを 2 種類の形式で作成し、1 つはオフサイトまたはリモート バックアップ コピーとして保管します。
- **ディザスタ リカバリ：**ディザスタ リカバリは、3-2-1 バックアップ ルールの 1 に相当する保護を提供します。火災、ハリケーン、竜巻、地震などの災害が発生した場合、ソフトウェア、データ、インフラストラクチャを含めた、アプリケーション スタック全体のコピーを使って、別の場所からほんの数分でアプリケーションの運用を引き継げます。

シスコ データ保護ソリューション

シスコのソリューションはさまざまなアプローチに対応し、お客様のアプリケーションに適した RTO と RPO を選択できます。シスコ インフラストラクチャは、防御の最前線として、シングル ポイント障害がないように設計されています。これ以外にも、パートナーとの共同作業によって、BURA、ディザスタ リカバリ、Backup-as-a-service（BaaS）クラウド ソリューションを提供しています。これらのソリューションによって、一貫した運用戦略を使用して、アプリケーション インフラストラクチャ全体（サーバ、ネットワーク、ストレージ リソース）とデータ保護環境を管理できます。次の利点があります。

- **複雑性の解消による簡素化：**容量ベースのバンドルをリファレンス アーキテクチャまたは Cisco Validated Design に対応付けて、すばやく容易に導入できます。
- **検証済みのリファレンス アーキテクチャと Cisco Validated Design によるリスクの低減：**業界のベスト プラクティスを組み込んだソリューションを作成するための手間のかかる設定とテストは、すでに実行済みです。あとは、成功への道筋をたどるだけです。
- **ロックインの排除：**シスコは業界リーダーと協力して、厳選したソリューションを提供しています。
- **運用効率：**シスコは、コンピューティング、ネットワーク、ストレージ リソースにモデルベースの管理を実現します。

関連情報

製品

- cisco.com/jp/go/ucs
- cisco.com/jp/go/storage

ソリューション：

- cisco.com/jp/go/dataprotection

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved. Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)
LE-58704-00 11/16